



先月、奄美市内の小学校の運動会があり、私は、地域の住民として、地元の知根(ちね)小学校の運動会に参加、見学しました。運動会には、いつもひとりひとりのドラマがあります。子どもたちの一生懸命な姿やその子どもを自分が参加しているかのように一生懸命に応援する父母や祖父母。みんなが丸となって一つの競技に夢中になり、その熱気は周りを魅了するほどでした。そのプログラムの中で、愛の浜園利用者との競技が毎年あります。利用者と児童がふれあいながら競技をするということは他の学校では、あまり見られないことだと思います。地域での交流や伝統がこのような競技に繋がっているように感じます。また、愛の浜園の法被を着け、「ソーラン節」を踊る姿は、「地域共生」を感じ嬉しく思いました。今月、10月20日は、愛の浜園のグラウンドに舞台を変え、皆さんに感動と思い出を届けます。(主任:市田)

10月行事予定表

1日(火): 体重・血圧測定
20日(日): 愛の浜園運動会
29日(火): 健康相談

10月誕生者の皆さん



猿渡 明弘さん



田中 國枝さん



島本 誠さん



藤島 亜由美さん



稲田 吉浩さん



碩 友美さん



岩越 タツヨさん



禎 文勝さん

愛の浜園 敬老会



去る9月12日に、愛の浜園多目的ホールで敬老会が行われました。今年は70歳から、最高齢は90歳の9名の敬老者の方々をお祝いしました。当日は園長による敬老者の紹介から始まり、祝舞、祝い唄、記念品贈呈、そして余興を行いました。余興では敬老者の方の自慢の喉を披露したカラオケも行われ、大いに盛り上がりしました。利用者さん、職員全員で敬老者をお祝いし、お菓子やジュースを頂きながら楽しく過ごすことができました。当日敬老者の方はしっかり正装し、普段とは違う表情と笑顔も見られ、係りとしては心がほっこりするような温もりを感じ、非常に嬉しかったです。宮本武蔵著者である、吉川 英治(よしかわ えいじ)の「長上を敬す」という言葉がありますが、人生の大先輩である敬老者の方々に敬意を表し、来年も笑顔で敬老会が開催できますよう、敬老者の方はもちろん、全利用者さん、全職員の健康を願い結びと致します。(記事:丸田)

知名瀬豊年相撲

9月1日(日)に知名瀬の豊年相撲が公民館であり、利用者さん男女十数名が見学に行きました。時折降る小雨の中、この日は隣の小宿(こしゆく)・根瀬部(ねせぶ)集落から小・中学生の方達も応援(取り組み)に来ていました。子供から一般まで、体格のいい方や細い方様々で、あっという間に決着がついたり、にらみ合って長丁場の取り組みがあたりし、利用者さんもチヂン太鼓を持って大喜びで応援していました。昔は、男性の利用者さん・男性職員も豊年相撲に参加していたそうです。今は、愛の浜園の利用者さんは、取り組みには参加しませんが、迫力のある豊年相撲を見学する事が出来ました。地域の方の相撲を観て、中入りでは、八月踊りを楽しそうに踊り、今年も元気をいただいた豊年相撲でした。(記事:松原)



第42回愛の浜園運動会のお知らせ

本年度の運動会を次の通りに開催いたします。多くの方々のご参観と声援を頂きたくご案内申し上げます。

日時: 令和元年10月20日(日)

午前10:00~午後3:00予定

場所: 愛の浜園グラウンド

※ご不明な点は園までご連絡ください。

フレンド

暑かった夏も終わり、少しずつ涼しくなってきたこの頃ですが、フレンドでも秋に向けて畑の整備を行い、野菜の植え付けを始めました。現在、キャベツ、大根、玉ねぎ、ブロッコリー等を植えました。今後色々な季節の野菜を植えていく予定です。美味しい野菜がたくさん収穫できるように、心を込めて育てていきたいと思っています。(記事:名島)

三賞受賞者

(努力賞)

- ・西 順子さん...色々な作業にチャレンジし、皆と過ごす時間が多くなりました。
- ・園 初代さん...新しい手工芸(編み物)を覚え、毎日集中して作業に取り組んでいます。
- ・定原 たず子さん...音楽など、楽しみながら穏やかに過ごすことができます。
- ・碩 友美さん...先月より服薬用のコップを新しく準備しましたが、すぐに慣れて、スムーズに服薬できています。
- ・森山 麻李亜さん...元気に就労B事業所に行き、園に帰って来てからも規則正しい生活ができています。
- ・稲田 吉浩さん...シーツ交換に自ら取り組みことができました。
- ・古島 春樹さん...4月から休むことなく利用できています。

(親切賞)

- ・演手 輝代さん...他の利用者へ何度も優しく声掛けをしてくれました。
- ・森山 麻李亜さん...他の利用者のことを気かけ、積極的に優しく声掛けをしてくれました。

(奉仕賞)

- ・東條 和三さん...芝刈り後のグラウンドを見て、直ぐに道具を準備し、進んで草集めをしてくれました。

知根小学校運動会



9月29日(日)知根小学校の運動会に園の利用者6名、グループホームから5名の利用者が参加しました。競技は「大玉ころがし」で毎年招待していただき、利用者さんも楽しみにしている競技です。紅組・白組に分かれ、合同練習にも参加し、当日もペアを組んだ小学生と息もぴったりな様子(!?)で、地域の方々や運動会に参加していた職員の声援を受け、頑張っていました。どちらが勝ったかは秘密です。園への帰り道、「来年も頑張る。」とMさんは楽しそうに話していました。知根小学校・地域の皆さん、ありがとうございました。(記事:前之園)

インフルエンザ流行の兆し

インフルエンザと聞けば冬の病気というイメージがあります。ところが、今まさに流行が始まっているという情報を耳にしました。国立感染症研究所の9月17日の発表によると、9月2~8日の間のインフルエンザ感染者数は前週から倍増し、県内では、前週より3人多い99人でした。また、インフルエンザにより欠席した児童生徒の殆どがA型インフルエンザと報告されているようです。大流行した2009年に次ぐ勢いとなっており、9月2日には東京都東村山市の中学校がインフルエンザで学級閉鎖にもなりました。インフルエンザが夏場に流行するとは...。近年、状況が変わりつつある為、私たちも十分に気をつけなければなりません。早めの予防をすることをお勧めします。(記事:山田)

インフルエンザの予防には!



マスク

手洗い

うがい

雑巾を縫ってみませんか

先日、家の中の荷物を片づける機会がありました。古いバスタオルがたくさん出て来ました。姑の介護や子供のいないおばさんの後見をした時に使った物でした。雑巾を縫って愛の浜園に届けたいと思いました。友美の担任に二つ折り・三つ折り・四つ折りのどちらが良いかたずねました。二つ折りが良いとの事だったので縫いました。バスタオルを2つに折って周りを縫い、中をバツ印に縫った簡単なものでした。最初7～8枚くらいを縫い、面会の折、お届けしました。担任から「とても助かります。」と感謝の言葉をいただいてとてもうれしい気持ちになりました。少しでも友美の世話にかかわれているという喜びでした。それから数回にわけ、縫ってお届けしました。私は縫物が好きで、色々縫っているのですが、もっと早く気がつけば良かったのと思いました。思い立ったら吉日と思い、家でいらなくなった物をこれからも縫う事にしました。どういう用途があるのかおたずねしてみました。利用者さんの入浴の際、上った時のイスの上にして座っていただく、また、脱衣室の床に敷く、また、雑巾にして使う等々でした。私の他にも縫物が好きな方はいらっしゃると思います。少しでも良いのでみんなで縫って愛の浜園へ届けたらとても助かると思います。古いタオルはあるけれど、縫い物の方は苦手、と言う方は預けて下されば、私が縫っても良いと思います。雑巾を縫ってお届けする。喜ばれる。このやりとりのかかわりで、職員との関係が深まってゆくのを感じました。(ご家族: 碩 真澄様)



9月の愛の浜園



知名瀬豊年相撲

敬老会

知根小運動会

職員清掃

陶芸作品

池田 ヨシエさん(90歳)が、奄美市より、敬老祝い金を頂きました。



第27回 大島地区ゆうあいスポーツ大会のご案内

大島地区ゆうあいスポーツ大会が下記の通り開催されます。
本大会は、大島地区内の知的障がい児者スポーツの発展を図り、また、大島地区の障がい児者に対する理解促進や社会参加促進に寄与することを目的として開催されています。ぜひ、応援にいらしてください。

記

日時: 令和元年11月3日(日)

午前10:00～午後3:00予定

場所: 晴天時 龍郷中央グラウンド

雨天時 リゅうゆう館